

## 消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

### 【事例概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	狭隘路地で救急車を走行中、路肩の置石に車体を接触した事例
3. 体験した事例の中心的要素	狭隘な路地で車両周囲の安全確認を怠ったもの。
4. 体験した事例の原因・理由	日頃からの安全に対する意識の不足。

### 【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。
------------------	--------------

#### 【体験した事例について】

1. 発生日時	平成 20 年 7 月 3 日 午後 2 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：狭隘な路地
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	交通事故
7. 事例体験時の活動	救急、現場活動中期 [ ]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	搬送中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに 1, 2 回程度体験している。

#### 10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[ 35 ]歳、 勤続年数[ 15 ]年、 現場経験年数[ 15 ] 年、 階級[ 消防士長 ]、 同様の活動 [ 頻繁 ]、 任務 [ 車長 ]
○当事者 B	年齢[ 30 ]歳、 勤続年数[ 5 ]年、 現場経験年数[ 5 ]年、 階級[ 消防士 ]、 同様の活動 [ 頻繁 ]、 任務 [ 機関員 ]
○当事者 C	年齢[ 27 ]歳、 勤続年数[ 4 ]年、 現場経験年数[ 4 ]年、 階級[ 消防士 ]、 同様の活動 [ 頻繁 ]、 任務 [ 隊員 ]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

## 11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	A	Cと共に車内で救命処置をしていた。	
経過 2	B	狭隘な路地で救急車を運転していた。	
経過 3	C	Aと共に車内で救命処置をしていた。	
経過 4	B	鋭角な三叉路を左折した。	
経過 5	B	スライドドア下部を路肩の置石に接触した。	
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

#### 【その事例発生時の状況について】

A horizontal line consisting of 20 solid black circular dots, evenly spaced from left to right.

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかつた。周囲の視界が確保できていなかつた。

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
  - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。
  - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。

b. 注意力が欠如していた

- |                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があつた。

はい：ドアミラーの調整不足（スライドドア下部まで見えなかつた）
---------------------------------

## 【事故発生後の取り組みについて】

・・・・・・・・・・・・・・・・

### ○注意力欠如、焦り等の対策について

安全管理教育テキスト（消防大학교）を利用しての危険予知訓練の実施。

### ○装備・資機材の対策について

始業点検時にドアミラーの調整を入念に行うようにした。  
(調整によりスライドドア下部まで見えるようになった)

### ○活動環境の対策について

狭隘な路地を走行する時は、事前に置石等を確認することとした。

### ○指揮・情報伝達の対策について

（空欄）

N  
4

## 事故現場付近見取図

